

前期学校評価アンケート

生徒アンケート（7月末実施）
保護者アンケート（7月末実施）
教員アンケート（7月末～8月上旬実施）

一覧表 肯定的回答(当てはまる・だいたい当てはまる)の割合 (%)

項 目	生徒	保護者	教員
A 当たり前を大切にし、粘り強くやり抜く態度の育成			
① 生徒会活動や学校行事への取組	87.8	88.5	100.0
② 部活動への取組	91.6	91.0	100.0
③ 学校や地域での挨拶やマナー	93.9	90.2	92.3
④ 家庭学習の習慣	68.1	72.2	92.3
⑤ 粘り強くやり抜く態度	88.3	83.6	100.0
B 一人一人の個性を大切に、他者を理解し、共に成長する集団の育成			
⑥ いじめを許さない体制づくり	91.6	72.1	100.0
⑦ 生徒の間違った行動に対する毅然とした指導	94.8	82.7	100.0
⑧ ICTを活用した分かりやすい授業	94.4	68.0	100.0
⑨ 個に応じた活躍の場の設定	94.4	79.5	100.0
⑩ 頑張りを認め合う環境	95.8	86.9	100.0
C 郷土に対する愛情を育むふるさと学習の推進			
⑪ 地域行事への参加	74.7	76.2	92.3
⑫ 地域への興味・関心や積極的な関わり	65.7	66.4	100.0
D 開かれた学校づくり（保護者・教職員）			
⑬ 保護者や地域の方が来校しやすい体制づくり	—	86.9	100.0
⑭ 教育活動に関する情報提供	—	84.4	100.0
E 業務改善（教職員）			
⑮ 積極的な業務改善	—	—	76.9

※ ホームページ (<https://honai-j.esnet.ed.jp/>)

※ 肯定的回答(当てはまる・だいたい当てはまる)が9割以上…黄色のマーカー

※ 否定的回答(あまり当てはまらない・当てはまらない)が2割以上…水色のマーカー

<アンケート結果の分析>

A 当たり前を大切にし、粘り強くやり抜く態度の育成

- ・ 全体的に、生徒は意欲的に学校生活を送っており、保護者もそれを認めている状態であると考えられる。
- ・ 家庭学習の習慣については、十分ではないと感じている生徒や保護者が約 30 %存在する。「当てはまる」と自信を持って回答した生徒・保護者は、共に全体の約 20%であった。
- ・ 教師は、意識的に指導・支援を行っているが、挨拶やマナー、家庭学習の習慣に関する指導については、自信を持ってできていない教師がいることが伺える。
- ・ 地域の方からいただく公共マナー等に関する意見と、生徒・保護者・教員の回答にズレが生じているように感じる。

B 一人一人の個性を大切に、他者を理解し、共に成長する集団の育成

- ・ どの質問に対しても生徒と保護者の捉え方が若干異なり、保護者の方が厳しい見方をしている。
- ・ 「いじめを許さない体制づくり」と「ICT を活用した分かりやすい授業」については、自由記述欄でもコメントがあったように、学校の取組が保護者に十分に伝わっていないところがあると考えられる。
- ・ 自由記述欄で活躍の場が一部の生徒に偏っているといった意見もあり、「個に応じた活躍の場の設定」については、学校としてさらに検討していく必要がある。
- ・ 教員は、意識して指導を行っていると考えているが、保護者からは十分に理解されていない部分があると思われる。

C 郷土に対する愛情を育むふるさと学習の推進

- ・ 生徒・保護者共に肯定的な意見が 80%を下回った。その一方で、教員は、地域への興味・関心が高まる指導を実践できたと感じている。これは、総合的な学習の時間において、学校全体で地域を意識した取り組みを実践してきたからだと考えられる。今後も、この取組を継続・発展させるとともに、保護者への情報発信を丁寧に行うことにより、生徒や保護者の肯定的な意見が増えていくことを期待したい。

D 開かれた学校づくり

- ・ 教員側の努力と、保護者の肯定的な意見との間に若干のズレがあると考えられる。保護者からの意見を真摯に受け止め、改善策を模索していく必要がある。

E 業務改善

- ・ 教員が忙しさを感じながら、業務を遂行している様子が伺える。事務的な作業や会議等を効率的に行うシステムを一つずつ構築していき、落ち着いて生徒と関わることのできる時間を増やすとともに、プライベートの時間が確保できるように努めたい。